



JAPAN  
MARROW  
DONOR  
PROGRAM

## 安全情報

2002 年 7 月 17 日

(財) 骨髓移植推進財団  
認定施設連絡責任医師 各位

財団法人 骨髓移植推進財団  
ドナー安全委員会

### 入院時所見で腹部腫瘍を認め、採取が1日延期となった事例

採取前健康診断で腹部腫瘍が見逃され、入院時の診察で小児頭大の腹部腫瘍が発見されたため、採取が延期になった事例が報告されました。

#### <経過>

入院時の診察で下腹部に小児頭大の腫瘍を触知。子宮筋腫であることを確認し、予定より1日延期で採取施行。

#### <原因>

当該ドナーは、約1年前から腹部腫瘍を認識していたが、他に貧血症状や不正出血等の症状がなかったことから、そのまま放置していた。

採取担当医師は術前健診時において、腹部触診が不十分であったこと(担当医からの報告)から、腹部腫瘍は認識出来なかった。また、ドナーからの申し出もなかった。

#### <対策>

通常、術前健診時に問診・診察等は実施して頂いていることと存じますが、再発防止の観点から、

術前健診時では慎重に理学所見の確認をお願い致します。

以上をご確認の上、ご対応をお願い申し上げます。

財団法人 骨髓移植推進財団  
ドナー安全委員会  
(事務局 担当: 折原)  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町 3-19  
廣瀬第2ビル 7階  
TEL 03-5280-2200  
FAX 03-5283-5629  
E-mail: orihara@jmdp.or.jp